

日立シニアゴルフ会

第31号

発行
平成24年4月1日



セルフプレーとマナー

広報委員長 千葉 優明



1990年代初頭のバブル経済崩壊により、低成長時代が続いた。当然ながら、ゴルフ場経営もコース利用者の減少により徐々に影響を受け深刻の度合いを深めていった。因みにレジャー白書によると、年間1回以上コースでプレーをした15歳以上の延べ人数は、1992年の1,480万人をピークに、2009年には1,060万人に減少している。

茨城県北部地区の多くのゴルフ場でも、集客対策の一環として、ここ5～6年の間でキャディ無しのセルフ制が導入され、低価格化がすっかり定着してきた。セルフ制はサービスの質を考えると手放して喜べない面もあるが、年金生活主体のシニアゴル

ファーにとっては価格競争によるプレーフィーの引き下げは嬉しいことである。

それだけに、セルフプレーには守らなければならない最低限のマナーがあると思う。セルフ制のゴルフ場で毎回腹立たしく思うことが二つある。一つは、バンカー内の乱れが多いことである。靴跡やショット跡が均されていないため、あるいは不十分であるためライが悪く、悔しい思いをすることが多い。後続を思いやり、均しは丁寧にやって欲しいものである。二つ目は、グリーン上のボールマークの多さである。自分でつけたボールマークをなぜ修復しないのか。常にグリーンフォークを携行し二つ以上修復するぐらいの心掛けが欲しいものである。

思いやり、気配りでセルフプレーを気持ちよく楽しみたいものである。

東日本大震災の記憶

スーパーひたち車中にて東日本大震災に遭遇 C組 山野 邦雄



熟年ネット・ひたちの自主グループ「河原子海岸清掃Gr.」の海岸清掃を終え、孫（仙台にて3月9日誕生）の顔を見に出かけるスーパーひたち27号車中にてあの巨大地震に遭遇しました。

磯原、大津港間で急停車、何かと思うまもなく大揺れが列車を襲いました。車中騒然、窓からは周りの家々の瓦が飛散し、家屋、電柱が大揺れするのを目撃しました。その後津波（5m級?）が襲ってくるとの車掌連絡で列車を離れ、近くのアパートに避難しましたが、乗客の行動は緩慢でした。国道を海水が越えて来るのを見ながらの移動であったが、大きな津波など来ないと舐めていたようです。後の宮城・岩手の津波映像からみるとラッキーであったとしか言えません。

その後北茨城市関南小学校体育館にて、水、おにぎり、毛布等のお世話を受けました。多くの地元避難者の中へ乗客約200名が急遽なだれ込んだが、差別ない温かいお世話を受けました。家族等との連絡が取れない中、翌日北上を諦めタクシーの相乗りで、日立まで逃げ帰りました。ライフライン復旧後しばらくしてテレビを見ていたら大阪の66歳のおっちゃんが被災地に入り、家業の自転車修理で被災先への救援をしている映像が飛び込んできました。嬉しいものです。

小生にはそれだけの行動力も技能もありませんが、関係する7つの団体の責任者に差し出がましくも義援金を呼び掛けした。多くが集まったと聞いており、ねずみ講式にその輪が広がれば素晴らしいと思っています。



スーパーひたち27号からの避難状況



アパートへのろのろ移動

我が家の震災

D組 佐藤 紘介



震災から1年が経過した。北茨城市も北部港湾地区を中心に、地震、津波と原発放射能の甚大な多重被害を受け、現在も復旧まならない状況である。

我が家は市南部に位置し、海岸から1km強だが高台にあったため、当日は夜遅くまで津波避難の人達で一杯であった。寒さをしのぐため、子供達に空吹かしの自家用車で暖を取ってあげたり、常備していた非常食で空腹を紛らわせてあげたことも思い出す。

地震発生時は廊下から外に飛び出し、庭木に掴まりながら、ギシギシ音を立てて揺れる我が家を眺めているしかなかった。幸いにも、地震対策を怠った一部の家財の損傷と建てつけ不良、更には壁にできたクラック等の些少被害（一部損壊）で済んだ。唯一困窮したのは、長年使い慣れたボーリング井戸の濁りであった。風呂水には使ったが、飲用には控えざるを得なかった。ガソリン、飲料水の調達の苦労も今は思い出話となっている。

問題は放射能である。放射線量は現在も約0.14 μ S/hの値を示しているが、人体に影響なしと言われている。それでも遠方に住む子供達家族は震災以来、北茨城市へ来ようとしなない。孫と久しく会えず何と悲しいことやら。100坪強の家庭菜園も今夏は100個を越す『スイカ』、特大の『サツマイモ』と豊作であったが、幼児には控えた。子供達の将来を考えると、放射能の早い収束を期待して止まない。



我が家の震災

ホールインワンさまざま



A組
岡村 参次

残りの人生を余計なものは捨ててシンプルライフに心掛けようと、身の回りの整理を始めたら、A氏のホールインワンの挨拶状が出てきた。「ゴルフを始めて12年11ヵ月。129のコースを回って306回目にやっと出ました。その間に同伴頂いた618名の方々に記念品を・・・」とあり、豪放磊落で人情味のある経営者だった。

勝負に強いI氏の快挙は、日立ゴルフクラブでの第33回「モーター会」コンペで達成。しかも3番ホール。「語呂を合わせるつもりではなかったんですが・・・」と挨拶で額の汗を拭っていたことを思い出す。

長いゴルフ人生でホールインワンを目の前にしたのはただ1度だけ。いつも元気なK氏。「行くぞ！」と飛んだボールがピン手前1メートル脇に落下し、急に方向を変えてピンを直撃しポトン。「やったぞ！」と拾い上げたボールは石榴のように割れていた。イレギュラーホールインワンは今でも懐かしい。イレギュラーといえば大みかゴルフコースの7番ホールの出来事。ボールがグリーン奥の土手に当たって転がり無惨にもカップイン。当の本人O氏は「不本意なホールインワンだ・・・」と同伴競技者にお昼をごちそうして終わったとか。

ところで、私は未経験。捨てられないで大切にしている純銀製の優勝カップは、1969年7月OGSの競技会でプレーオフの末に勝ち取ったもの。あれから40数年、何回ラウンドしたか数えたことはないが、ついにホールインワンには縁がなかった。多分これからも。



筆者自筆イラスト

直らない「ため込み癖」



A組
大越 健児

私は諸整理が下手で、イベントや各種集まりの資料類を後で参照することもあろうかとの気持ちから積み上げて置くのが癖です。整理するとしても、イベント毎に区分けするのが精一杯で、収納は後回しというのが常です。

最近ではパソコンのデータ類をいろいろとため込んでいます。各種講座の資料や電子メールなどを殆ど捨てずに保存しています。例えばメール関係では、社友茨ネットのものは平成12年にスタートし、現在までに約6,000通になっていますが、その最初のものからほぼ全部を保存しています。首相官邸から発信される首相のメールマガ

ジン類も、小泉首相以来のものを持っているという有様です。メールなどは後で見るといことは殆どありません。たまに友人から10年前のメールを見たいとの要望があり、探して提供したことなどありましたが、役に立ったことは殆どありません。断捨離を実施したいと思いますが、意志が弱く実行ができません。癖というよりは趣味というべきかもしれません。

ゴルフの成績も昭和46年以来の記録が残っています。始めてから約20年間は、年間平均グロスが100～110と低迷し、平成2年に初めて100を切りました。その後も100前後を浮沈していて、腕はさっぱり上がらなかつたと残念に思っている次第です。

小泉内閣メールマガジン ===== 2001/06/14
 解除はこちら <http://www.kantei.go.jp/jp/m-magazine/>

★小泉内閣メールマガジン、創刊！ ★

□ 目次

[いおんはーと ～ 小泉総理のメッセージ]
 ● 24時間公開

[大臣のほんねとーく]
 ● 台所からの政治(蔵相・国土交通大臣)
 ● 政治家・小泉純一郎のこと(塩川財務大臣)

[特別寄稿]
 ● 安全な社会の構築を願って(逸山文部科学大臣)

[小泉内閣の動き]
 ● 司法制度改革審議会意見書(01/06/12)
 ● 内閣総理大臣コメント[大阪教育大学教育学部附属池田小学校における事件](01/06/08)

[いおんはーと ～ 小泉総理のメッセージ]

小泉内閣メールマガジン創刊号

私のゴルフ事始め



B組
篠田 和男

ニューヨーク駐在が決まり、東京のBerlitzで英会話の講習を受けていた時に、アポロ計画の月面着陸成功の映像が中継され、アメリカ人の語学教師が手をたたき感激していたことが、ありありと思い出される。私はその年の9月、当時のHitachi America, Ltd. ニューヨーク本社に赴任した。春のゴルフシーズンを迎える頃、先輩の勧めによりハーフセットのゴルフクラブを取り揃えた。週末にはゴルフレンジに行き、ようやく150ヤード以上飛ぶようになって有頂天であった。それが私のゴルフの始まりである。初めてコースに出たのは、郊外の自宅近くのパブリック

コースであった。地域住民のために公園管理の一環として多数のパブリックコースがあり、住民登録カードあるいは運転免許証を提示すると信じられない安い入場料でプレーができた。

現地での夏休みには、家族と長距離ドライブに出かけた。州北部のアディロンダックでは連泊したモーターの前に湖があり、中年の白人が小型の水上飛行機に乗って、青空と湖の間の離着を何度も繰り返していた。周囲には大小の湖が点在し、パブリックのゴルフコースもあって、早朝の誰も居ない朝もやのコースを一人で回った。静かで豊かな自然に囲まれてプレーするゴルフの醍醐味をその時実感した。



水上飛行機と子供たち
(ニューヨーク州アディロンダック)

当時のアメリカは、泥沼のベトナム戦争に手を焼いていたが、おあらかで自由な雰囲気の良い時代であった。帰国して大みかゴルフコースでプレーすると、その運用がアメリカのパブリックコースと同じであった。

老人素人ゴルファーの努力と悩み



B組
池田 忠禧

40代半ばから始めて以来30年程続けているゴルフは、本人のかなり懸命な努力にもかかわらず相変わらず低いレベルに低迷している。喜寿に近づいているのだから、「歳ですよ」と言ってしまうはあしまいだ。しかし内心では「あの時のああいうショットを打って、この前のあの振り方をしなければ絶対良いところに行く筈だ。もう1ランク上のゴルフができる筈だ。」等と儂い夢を持って練習を続ける。

しかしながら次のコースでは残念なことに、またまたいろいろな反省点を見出すということを繰り返している。

大体、ゴルフ雑誌やレッスン書の教えることには、「体のどこかを『・・・のつもり』で動かせ」というものが多い。しかし物理的には（第三者が見れば）体はそう動いていないし、もともと体はそう動くようにできてはいない。つまり『・・・のつもり』は秘伝・奥義の類なのだ。しかし一方、純物理的に正確に、「フォワードスイングでは、まず左足に65%の体重を移し、下半身を回し始め、0.05秒くらい遅れて上半身を追従させ、腰が飛球線方向に20°回転した時点で手は垂直と30°の角度まで下ろせ」等と言われても、数値制御のできない人間には不可能である。素人ゴルファーの悩みは続く。現在は下半身が回り始める前に上半身が動いてしまう失敗を繰り返している。



実戦ゴルフスイング

ゴルフが人生の潤滑油



B組
古目谷 勲

私にとってゴルフは、趣味と処世術の手段だったような気がします。

地元（常陸太田）出身の私は、比較的若い30歳（昭和40年）頃から、茨城、千葉在住の高校時代の同級生とコンペをスタートし“習うより慣れる”と切磋琢磨してきた。現在、コンペの回数は110回目を迎える。遠慮なくもの言い合える友達の存在はいつも心の支えだ。

一方、昭和50年に大みかGCの会員となり、あの有名な人見管理人に、時に適切なご指導を受けながら仲間と練習に励んできた。当時、多賀工場長杯（TGA杯一別名平

木杯）取りきり戦ゴルフコンペは大洗GCを借り切って行っていた。この伝統と権威のある大会に私も参加することができ、たった一度ではあるが、昭和53年12月の第75回大会で優勝し、七宝焼のカップを頂いた。終了後、参加者が日立市の拙宅までバス2台で乗り付け、祝賀の洗礼を受けた。そこで、家族総出で馳走を準備して饗応したことを、今でも懐かしく思い出します。

昭和57年に営業関連会社に転属になり、退職金で「水戸ゴルフ」と「水府ゴルフ」の会員となり、週毎に仲間やお客さん等とゴルフをやっておりました。日中、芝生の上でゆっくり親睦と情報交換が図れる機会でありゴルフ礼賛の時期でした。そんなゴルフのせい、素人打法のままでオフィシャルハンデも16止まりでした。

そして定年後は、現役当時の仲間達で、「ハワイ会」と称して、ハワイ・オアフ島を中心に3回のプレーと旅行を楽しんだり、「井上誠一設計コース」をラウンドしたりと楽しんでいます。かくして最近では、1年でも長くプレーができるように、週日にはスパーク鮎川に通いピチピチギヤルに見とれたりして、足腰の鍛練に励んでおります。



ハワイのコ・オリナ GC にて

ゴルフ心理学



C組
竹村 明

最近、ミスの連発を引きずってそのまま崩れてしまうケースが多く、悩んでいた。そこで、「**ゴルフ心理学**」（市村操一教授著）を見つけ、読んでみた。ミス・ショットの記憶を消去させ、理想ショットの“刷り込み”が大切であると言っている。また、彼のニクラスは「良いショットを生み出す決定要因の五割はイメージ（計画）であって、四割はセットアップ（構え）であり、残りの一割がスイングである」と言ったとある。この割合はともかく、打つ前の動作が極めて重要だ。この本では、第2章「**常に崩れないゴルファーになるショット直前30秒の法則**」

の中に「**プリ・ショット・ルーチン**」が可能にする精神安定への道について詳しく書いてある。ここでは省略するが、「**同じ手順を同じリズムで**」とある。それは、ショットの前の行動・振る舞いを一定にすることは、その振る舞いに同調して、ショットに必要な注意・思考・判断・イメージなどが引き出されやすくなるためとある。

我々アマチュアは、コンペの時などはどうしてもショットの結果に一喜一憂してしまい、次のショットへ大きな影響を残す。しかし、プリ・ショット・ルーチンにより気持ちを切り替え、ショットに集中することができれば、大たたきは防げそうな気がしてきた。まだまだやるべき課題は沢山あるようだが、練習にもそれぞれの目的意識が必要なようである。



内容紹介の本

私のゴルフは楽しさ優先



D組
黒澤 幸夫

私がゴルフに本格的に熱中するようになったのは、白内障の手術を受けてからである。眼内レンズのお蔭で、球がはっきり見えるようになった時は本当に嬉しかった。その後日立シニアゴルフ会に入会したのをはじめとして、周りの方から誘われるままにゴルフをしているうちに気が付くと年60回を超えている。町内会のコンペに誘われたり、近くの鹿島神社の奉納コンペに参加したり、更には地域コミュニティセンタ主催の町民ゴルフコンペにも参加している。お蔭で、近くに住んでいるのに日頃顔を合わせることの無かった方々と知り合いになれて、老後

となった身にはとても楽しい。更には高校時代の友人との練習ゴルフを県北のゴルフ場を中心にほぼ毎週やっている。こちらは50年の時空を超えて昔に戻った感じで、これもまた楽しい。仲間にはいろんな分野で仕事をしてきた人がいる。彼等との経験話や世間話も面白い。この前の大震災の時、ゴルフ場のお風呂の中において大変あわてた話とか、ゴルフ場のレストランでカキフライを食べて同伴プレーヤー全員が食中毒を起こした話とか笑いは尽きない。

ところで、私のゴルフの腕前の方は正直言って“下手の横好き”の域を出ない。しかしゴルフの醍醐味は何と言っても楽しさにあると思っている。近所には米寿を過ぎても今なおシヤンとしてゴルフを楽しんでおられるシニア会先輩がおられる。私も米寿までゴルフを楽しみたいものだ。



ゴルフ仲間

家族と共にゴルフを楽しむ



D組
吉井 荘三郎

私がゴルフを始めたのは、長男が誕生した翌年の昭和50年の春で、29歳の時でした。親戚の方からハーフセットを貰い練習を開始しました。年少の頃から野球を経験していたので止まったボールを打つのは簡単と考えていましたが、御多分に漏れずスライスボールが出て飛距離も出ず苦労しました。暫くは月一ゴルフでしたが、大みかゴルフコースの同好会に入会しラウンドの回数が増えて、大会で優勝も味わい大いに楽しみました。

息子が就職しゴルフを始め、親父持ちで一緒に行くようになりました。最近は飛距離で負けるようになりました

だが、スコアでは何とか踏ん張っています。退職後、週一ゴルフになるに伴い女房をゴルフに誘い込み、女房の兄弟姉妹とのコンペを開催するまでになりました。

36年間のゴルフ人生で最大の出来事は、部課長コンペでホールインワンを達成しベスグロ優勝したことです。保険と共済に入っていたため招待ゴルフ、お祝い会等を盛大にでき、また孫をはじめ子供、女房にもおすそ分けできました。現在高校1年の男の孫には幼稚園生の時から、じいちゃんの夢は70歳になった時に20歳の君とゴルフをすることと言ってきました。まだその気になっていないのが気掛かりですが、実現することを夢見ています。

同じ土俵で、老いも若きも男も女も楽しめるゴルフに感謝です。



ホールインワンコンペ

和紙と卯建(うだつ)の町

B組 今井 史朗



我が故郷は、名古屋から真北に約40km離れた長良川上流の和紙の産地「美濃市」である。江戸時代に領主の金森長近が和紙の集積地として築き上げた町並みは、今もその面影を多く残している。火事の多かった江戸時代には防火壁として切妻造りの町屋の両端の妻を一段高くした「卯建(うだつ)」を設け、隣家からの類焼を防いだ。豪商がうだつを設けた立派な店構えにしたことから、「うだつが上がる」という言葉ができた。彼らうだつを富と粋の象徴としてその意匠も競い合った。かつては日本各地で見られたうだつ造りもその数が減ったが、今も、美濃市の東西二筋と南北

四筋の街路に面した泉町・本住町・常磐町・相生町の一带にはうだつ造りが数多く残っている。ここでは、最も古い形式のうだつ軒飾りから装飾を重んじた明治初期の物まで時代的变化を見ることができる。なかには国の重要文化財に指定された物もある。また、これらの商家では、日本庭園の最高技術の一つである「水琴窟」を中庭に埋めた家もある。美濃史料館で水琴窟の音色を聴き、うだつの上がる町並みを散策した後、和紙の里会館や日本最古の近代的吊り橋、長良川湊の灯台、明治モダンの赤レンガ造りの発電所等を訪れるのも一興と思う。



うだつの上った町並み

ご趣味紹介

何かやってみよう

A組 山内 益正



平成10年に会社生活が終わり、新しい生活の一步を踏み出した。これからは「何か新しいことしてみよう」とゴルフの他に山登りとマラソンを選んだ。

1. **山登り** 平成11年、市報に載った日立アルプス縦走(風神山～高鈴山30km)の募集に応募。続いて常北山水会企画の那須連山登山に参加し、山登りの楽しさを知る。平成13年、市主催の「中高年のための登山教室」に入り2ヵ月講義を聴く。この受講仲間と山の会を結成。この10年間に企画した山行は85山。この8割強に参加し楽しんでいる。

2. **マラソン** 平成10年秋、勝田マラソンに誘われ10kmの部に出場した。46分の好成績に満足し、翌年フルマラソンに挑戦した。初ランで4時間を切った。その後5年間に5回走りいずれもサブ4(4時間を切る)を達成した。平成17年のホノルルマラソンでは、70歳の部(70～74歳)に参加し145名中5位に入賞できた。これを最後にマラソンからウォーキングに切替え、毎年3デーMarch(3日間で約100km歩く行事)に参加している。

3. **ゴルフ** 35歳になって和尚塚GCで初めてプレーをした。それから今日までゴルフを楽しみ喜寿を迎え、32年目に1,000回を達成し、76歳の誕生日に1,300回に達した。85歳まで続け、1,500回を達成することが目標である。平成13年大洗GCの月例コンペでグロス82で回り優勝し、ハンデ10となったが、現在18まで落ちた。

山登り、マラソン、ゴルフの他家庭菜園にも精を出している。



大源太山頂上にて

写真と楽しむ

D組 前田 邦裕



学生時代は大学の写真部に所属して写真の撮影、暗室作業を楽しんでいた。勿論当時はモノクロ写真だが、時には畳一畳大に伸ばして写真展に出したりしたものである。会社に入ってから仕事上の写真しか撮ることがなかったが、2000年からデジカメでまた写真を再開した。カメラはデジタル一眼に、暗室はパソコンに変わって、写真がより簡単になり、以来、趣味の一つとして写真を楽しんでいる。

写真部のOB会には卒業以来ずっと参加していて、毎年、OB仲間と一緒に春は東京で、秋は京都で写真展を開催している。年1回発行する写真集も2000年から数えて今年で12冊目になった。今年の3月にはOB仲間等総勢12名で、1週間にわたりベトナム北部の山岳地帯に住む少数民族の撮影旅行を実施、秋の写真展や写真集にその成果を発表した。これ以外に年2回の一泊ゴルフや写真展後の飲み会、忘年会も恒例になっている。

また、4年前から約1時間半の早朝ウォーキングを開始し、その際、コンパクトデジカメを持ち歩いて、季節により移り変わる風景や道端の花などを撮りながら歩いている。2年前からこれらの写真を中心に、写真ブログも開設している。機会があれば、一度覗いてみてご意見頂ければ幸いです。

(URL <http://mornwalker.exblog.jp/>)



ベトナム少数民族（モン族）の母子

夫婦二人の欧州旅行

D組 七加家 洋一



一昨年、退職を機に、オーストリア、ドイツ、イタリアを約1ヵ月間かけて夫婦で巡りました。日本往復の航空券と現地ホテルは事前に準備したが、滞在が2連泊以上になった時のホテルの予約・現地での移動・訪問先は、気分と体調を見て決めた。“クレジットカードとインターネットがあれば何とかなるさ！”と気が向くままの、のんびり旅行でした。友人との再会、アルプスの散策、音楽会・美術館巡り、そして各国の誇る高速列車Rail Jet、ICE、Alta Velocita、Euro Star乗車も果した。雄大なアルプス連峰に息をのみ、本場のクラシック演奏を楽しみ、有名な絵画・彫刻

を堪能した密度の濃い旅行でした。日本とは違ったカラフルな街並み・石畳、市場に並んだ野菜・果物・海産物に目を奪われ、そして音楽・美術に造詣をもつ妻の意外な一面の再認識等新鮮な再発見もあり夫婦の会話も弾みました。

時差ぼけで寝過ごし約束時間に遅れたり、タクシーで法外な運賃を請求されたりもした。最後の宿泊地で忘れ物をして帰国後送り返して貰ったりと、トラブルはありましたが、それらも今では忘れがたい思い出となりました。

これに味をしめ、隔年に1回は海外旅行をしようと話し合い昨年も出かける予定でしたが、東日本大震災のために延期しました。今後も二人が健康な限りいろいろな所に出かけたいと思っています。



ウィーンのシェーンブルン宮殿

第227回競技会成績

於 日立ゴルフクラブ

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
A組 9月8日	 <p>今年からフロントティーで打てるようになったが、ティーからの眺めも変わりクラブの選択にも迷いが生じていた。今回はラウンド中に多く使えそうなユーティリティクラブを持参、7回の使用でこれがベストショット、それに同伴者の高根さん、東屋敷さんの励ましで優勝。感謝、感謝です。</p>	入賞者名	佐藤清仁	阿部章	久保英章	江川仁	大越健児	正岡功	林正廣	近藤晋司	茶園悦男	岡村参次	久保英章
		G	88	89	83	87	95	102	92	96	94	92	83
		H	16	17	10	14	22	28	17	21	18	15	
		N	72	72	73	73	73	74	75	75	76	77	
		新H	13	14	9								
B組 9月8日	 <p>ハーフ両方とも50で、グロス100という自慢できるようなスコアではありませんが、このようなきれいな数字のスコアで、しかも優勝というのは、初めての経験です。前日の9月7日は、私の75歳の誕生日でした。すばらしい誕生日となりました。</p>	入賞者名	志田茂	橋本正明	海老根克明	秋山豊太郎	篠田和男	高坂七三	村尾勝衛	中野文夫	今井史郎	池田忠禧	海老根克明
		G	100	84	83	88	109	91	94	98	106	84	83
		H	27	10	8	13	34	15	18	22	30	7	
		N	73	74	75	75	75	76	76	76	76	77	
		新H	22	8	7								
C組 9月15日	 <p>脇田、木内、鮭川さんと一緒に楽しみ、楽しいゴルフ有難う御座いました。当日は何時になくパットが好調で、2バーディ、5パーで回ることができたことが勝因です。次回、このスコアがフロックでなかったことを証明できればと思っていますが、どうなりますか？</p>	入賞者名	前川磐雄	齋藤茂樹	石川隆宏	中村喜久男	石川良雄	星野和貞	関幸一	大豆生田勇	松浦諄	綿引邦彦	海老原幸平
		G	90	101	86	89	88	99	96	97	93	89	84
		H	20	30	14	17	15	26	21	22	17	12	
		N	70	71	72	72	73	73	75	75	76	77	
		新H	14	25	13								
D組 9月15日	 <p>HSGに入会して1年5ヵ月、日立GCで初めて90を切り、その結果優勝することもできました。パートナー(黒澤、牧野、林氏)のテクニック、経験談、ゴルフ規則大改革論議も楽しく拝聴しました。今後も精進し、更なるスコアアップに励みたいと思っています。</p>	入賞者名	七加家洋一	前田邦裕	荻原章	吉井莊三郎	猿舘勉	泉勝夫	堀江慶宏	林利弘	黒澤幸夫	山口幹夫	山口幹夫
		G	87	89	92	89	91	89	89	103	106	81	81
		H	18	19	21	15	15	11	11	25	28	2	
		N	69	70	71	74	76	78	78	78	78	79	
		新H	12	14	18								

競技会成績

第228回競技会成績 於 大みかゴルフコース

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
A組 11月10日	 <p>良きパートナー（横須賀、鈴木両氏）に恵まれ、優勝することができました。更にベストグロス賞を初めていただき感謝しております。健康でいつまでもゴルフができるよう努力します。競技委員の方々に御礼申し上げます。</p>	入賞者名	茶園悦男	正岡功	八木秀幸	中津川恵一	菅野宏	東屋敷晃	涌井滋	奥山三郎	横須賀元也	関谷親文	茶園悦男
		G	86	98	88	96	94	106	87	86	91	92	86
		H	18	28	15	23	20	32	12	9	14	13	
		N	68	70	73	73	74	74	75	77	77	79	
		新H	11	22	13								
BG同点 奥山 三郎													
B組 11月17日	 <p>快晴の一日、池上さんと競技委員の山口さんのワザに刺激されたのが大きな勝因。温厚な小野さんも含め同伴者に恵まれました。最終回、難関の5番で大きく乱れて10打、ガックリ（心境を川柳欄に）。ラッキーなVに大感激、参加者全員に感謝申し上げます。</p>	入賞者名	村尾勝衛	長瀬寿美雄	蓑輪勉	水野雄弘	畔野信政	橋本正明	渡部正義	今井信一	原弘	小野寺勝重	蓑輪勉
		G	90	85	85	111	89	86	88	86	104	97	85
		H	18	12	11	36	12	8	10	7	25	17	
		N	72	73	74	75	77	78	78	79	79	80	
		新H	14	10	10								
BG同点 長瀬 寿美雄													
C組 11月24日	 <p>HSG入会12年で8年ぶりの優勝は今後につながりそう、また、72歳の誕生日と重なり大変嬉しいです。不調続きでしたので、林に入れないうアイアン使用と3パットが無かったのが良かったと思います。同伴者（和田、藤田、垣花氏）の皆さんの良きペースに感謝致します。</p>	入賞者名	石川良雄	星野和貞	小杉仁	大豆生田勇	和田辰治	鈴木正	四十物雄次	垣花寿雄	片岡武	木村奎二	小杉仁
		G	87	99	84	96	91	97	100	107	100	108	84
		H	15	26	10	22	16	21	24	31	23	30	
		N	72	73	74	74	75	76	76	76	77	78	
		新H	12	22	9								
BG同点 海老原 幸平													
D組 12月1日	 <p>HSG競技会で初優勝、嬉しく思っています。灘本、松崎、後藤さんとのパートナーにも恵まれ、ツキもありました。2番ホールでは、30ヤードがチップインしてバーディを、最終ホールではニアピンを取れました。今後も皆様とラウンドを楽しみたいと思います。</p>	入賞者名	亀井淳太郎	吉井莊三郎	千葉優明	荻原賢重	泉勝夫	石田宏一郎	菅原泰男	加原俊樹	佐藤正義	井口泰幸	荻原賢重
		G	85	89	89	85	90	97	107	99	96	100	85
		H	14	15	13	6	11	18	28	19	15	19	
		N	71	74	76	79	79	79	79	80	81	81	
		新H	10	13	12								
BG同点 亀井 淳太郎													

第229回競技会成績 於 大みかゴルフコース

	優勝者のことば	順位	優勝	準優	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	BG
A組 1月26日	 <p>同伴者は、阿部、名久井、江川さん。ハンデがあり皆さんより一打ずつ多く打って当然と気楽にプレイしたのが良かった。チップイン2回、ワンパット5回もラッキーだった。正月早々の優勝、今年は何かいいいことあるかな？良きパートナーに感謝。</p>	入賞者名	田代末吉	加藤格司	涌井滋	東屋敷晃	橋本宏	堀江浩一	阿部章	川崎健嗣	江川仁	赤塚淳	涌井滋
		G	100	96	89	110	93	98	94	96	96	98	89
		H	29	22	12	32	14	19	14	14	14	16	
		N	71	74	77	78	79	79	80	82	82	82	
		新H	22	19	11								
B組 2月2日	 <p>入会して丁度11年で念願の優勝ができ、望外の喜びです。同伴の高橋、渡部、小田切の三氏及び、今冬一番の寒さと強風の中参加された皆様に感謝。勝因は3回目の4番、5番の大叩きにもめげずに6番をボギーで上がったこと。これからもよろしくお願いします。</p>	入賞者名	谷中雅雄	蓑輪勉	児矢野勇	荻原覚	小野寺勝重	渡部正義	今井信一	藤本力	叶野信政	高橋禮次郎	蓑輪勉
		G	100	87	89	89	95	89	87	101	93	95	87
		H	24	10	12	11	17	10	7	21	12	10	
		N	76	77	77	78	78	79	80	80	81	85	
		新H	19	8	11								
BG同点 今井 信一													
C組 2月9日	 <p>今回まぐれにも優勝でき嬉しく思います。従来スライスに悩み2打目はラフからというのが常でした。今回、綿引さんのスイングを参考に打ち抜くフォームに矯正したことによって打球が安定したのが良かったと思います。今後は飛距離アップを図って行きたいと考えております。</p>	入賞者名	齋藤茂樹	小西健司	垣花寿雄	綿引邦彦	大豆生田勇	木内正	牧野淳一	星野和貞	鮎川隆	木内一之	小西健司
		G	92	78	106	88	98	93	98	100	106	96	78
		H	25	5	31	12	22	16	21	22	28	17	
		N	67	73	75	76	76	77	77	78	78	79	
		新H	16	4	28								
D組 2月16日	 <p>優勝とBGを頂き大変光栄に思います。スタートはボギー、ショートホールはトリプルで崩れると思っていましたが、無欲でプレーをしていたら何時の間にか安定したスコアになりました。同伴の荻原、松崎、井口さんとの楽しいプレーが総てです。感謝しております。</p>	入賞者名	玉木繁夫	佐藤正義	荻原章	土屋弘行	猿舘勉	吉田輝夫	妹尾誠	井口泰幸	山口幹夫	堀江慶宏	玉木繁夫
		G	83	90	93	90	91	86	103	98	83	92	83
		H	12	15	18	14	15	9	26新	19	2	11	
		N	71	75	75	76	76	77	77	79	81	81	
		新H	9	13	16								
BG同点 山口 幹夫													

初回HSGオープン開催

開催日：平成23年10月27日 場所：グランドスラムCC 参加者：132名 新ペリア方式

山崎会長談

東日本大震災では大変大きな被害を蒙りましたが、皆で元気を出そうということで、第1回全組・合同の競技会を開催しました。会場は南部地区会員の要望もあり、27ホールのグランドスラムCCとしました。大勢の参加者と競技委員、ゴルフ場スタッフ皆さんの協力のお蔭で楽しい一日を過ごすことができました。今後も継続して開催したいと考えていますので、引き続き大勢の会員が参加するよう希望致します。

吉井荘三郎氏談

記念となる第1回大会で優勝することができ、大変驚き喜んでおります。トリ3個、ダボ2個を叩きましたが、これが全て隠しホールに入っていました。スタートで4パットのトリとなりましたが、諦めずにプレーした結果が幸運に恵まれたと思います。



左：3位 黒澤靖郎氏
中：優勝 吉井荘三郎氏
右：準優勝 橋本正明氏



ラッキー賞：中野文夫氏
山崎会長から賞品授与

順位	氏名	G	H	N	組
優勝	吉井荘三郎	87	18.0	69.0	D
準優勝	橋本 正明	92	21.6	70.4	B
3位	黒澤 靖郎	91	18.0	73.0	C
4位	佐藤 正義	90	16.8	73.2	D
5位	脇田 八紘	96	22.8	73.2	C
6位	鈴木 勝美	100	26.4	73.6	C
7位	中島 正夫	93	19.2	73.8	C
8位	和田 辰治	93	19.2	73.8	C
9位	亀井淳太郎	92	18.0	74.0	D
10位	古目谷 勲	96	21.6	74.4	B
BG	山口 幹夫	83	7.2	75.8	D

今さら訊けないゴルフ・ルール(2)



ニヤレストポイントの決め方と処置

- ・ホールに近づかず
- ・そこに球を置けば次打で使うクラブで打つ時に障害が避けられ、止まっている球に最も近いコース上の「一点」(ニヤレストポイント)にマークする。(右打ちの場合はA点、左打ちの場合はB点)
- ・そのマークからホールに近づかず、1クラブレングス以内(右図扇型内)に拾い上げた球をドロップする。(規則24-2b)

(処置上の注意)

- ①ニヤレストポイントを自分に有利な側に取りすることはできない(有利な側にとると誤所となる)。

(裁定24-2b/2)

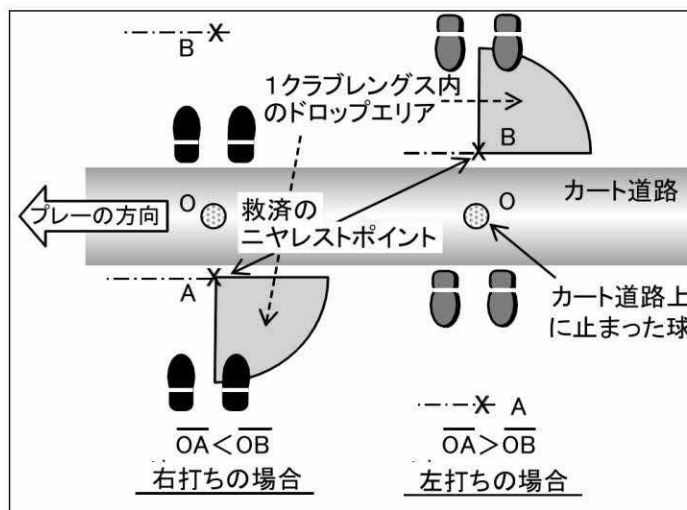
- ②ドロップした後で、クラブやプレーの方向を変えることはできる。(裁定24-2b/4、13-2/1.5)

- ③ドロップしたところ、別の障害物が妨げとなる時は第2の障害物からの救済が受けられる。

(裁定24-2b/9)

■救済のニヤレストポイント

動かさない障害物、異常なグラウンド状態、目的外のグリーンなどの障害を避け、無罰で1クラブレングス内ドロップの救済を受ける場合の基点である。(定義36)



第11回チャンピオン決定戦(平成23年度)

栄冠は C組 木内 正氏 へ

平成24年3月8日

平成23年度チャンピオン戦は、平成23年度各競技会での上位入賞者のうち40名が参加して、3月8日に熱戦を繰り広げた。その結果、C組の木内 正氏が11代チャンピオンに輝きました。



山崎会長より
優勝杯を授与



左より準優勝山野氏、
優勝木内氏、第3位植田氏

木内 正氏談：名誉あるHSGチャンピオン決定戦で優勝することができました。思いがけないことで自身驚くと共に大変嬉しく思います。ただ、優勝スコアとしては残念な数値でした。同伴プレイヤーの垣花さん、内藤さんに感謝申し上げます。

内藤競技委員長談：H23年度競技会を締めくくるチャンピオン戦は寒さが身にしみるなかで行われました。予想通り5番ホールAグリーンが明暗を分けたようです。優勝の木内 正さんはショートアイアンとピッチショットが正確で、この技でピンチを凌ぎ優勝をものにしたと考えます。おめでとうございます。

順位	氏名	G	H	N	組
優勝	木内 正	92	16	76	C
準優勝	山野 邦雄	84	7	77	C
3位	植田 光	90	13	77	A
4位	今井 信一	85	7	78	B
5位	石川 隆宏	91	13	78	C
6位	山口 幹夫	81	2	79	D
7位	本多 徹	88	9	79	D
8位	荻原 章	95	16	79	D
9位	海老原幸平	85	5	80	C
10位	涌井 滋	91	11	80	(A)
11位	児矢野 勇	91	11	80	B
12位	秋山豊太郎	94	13	81	B
13位	海老根克明	89	7	82	B
14位	玉木 繁夫	92	9	83	D
15位	七加家洋一	95	12	83	D
BG	山口 幹夫	81			D

委員会だより

競技委員会

1. 平成24年度競技日程

回数	競技日	組	予備日	回数	競技日	組	予備日
230	4/5 (木)	A・D合同、総会	4/9 (月)	HSGオープン	10/25 (木)	A～D	なし
	4/12 (木)	B・C合同、総会	4/16 (月)		234	11/8 (木)	A
231	5/10 (木)	A	5/14 (月)	11/15 (木)		B	11/19 (月)
	5/17 (木)	B	5/21 (月)	11/22 (木)		C	11/26 (月)
	5/24 (木)	C	5/28 (月)	11/29 (木)		D	12/3 (月)
232	5/31 (木)	D	6/4 (月)	235	1/24 (木)	A	1/28 (月)
	7/19 (木)	A・B合同	7/23 (月)		1/31 (木)	B	2/4 (月)
233	7/26 (木)	C・D合同	7/31 (火)		2/7 (木)	C	2/11 (月)
	9/6 (木)	A・C合同	9/10 (月)		2/14 (木)	D	2/18 (月)
	9/13 (木)	B・D合同	9/18 (火)	チャンピオン戦	3/7 (木)	A～D	3/11 (月)

(1) 合同競技会[230回(4月)、232回(7月)、233回(9月)]は日立GC。その他は大みかGCで行います。

(2) HSGオープンはグランドスラムCCで実施します。

(3) 第235回でのチャンピオン大会有資格者は既有資格者以外の方を優先し、繰り上げもある。

2. 平成24年度組別区分表

組別	生年区分	人員	
A	(A)	～S7/3	20
	A	S7/4～S11/3	58
B	S11/4～S14/3	72	
C	S14/4～S18/3	87	
D	S18/4～	67	
合計		304	

3. オープン参加について

HSGの会員はどの組の競技会にもオープン参加できますので、競技委員会に問合せ下さい。

4. チャンピオン戦優勝者について

チャンピオン戦で優勝された方は、1年間HSGの名誉競技委員としてお手伝いをお願いします。平成24年度は木内 正氏が名誉競技委員となります。

ゴールドティー使用を77歳以上から80歳以上(～S7/3)に変更する。

エチケット委員会

【スローガン】 楽しみつ ゴルフは 正しく 美しく

【目 標】 スピーディプレーの励行 [6H 1時間 40分以内
9H 2時間 40分以内]

【基本の心得】 ① 速歩 ② 気配り・目配り ③ 手順・段取り

1. 2012年ゴルフ規則の主な変更点 (JGA)

以下の変更点は「HSG適用除外」としたものを除き、全てHSGにも適用する。

・定義「球にアドレス」

2008年規則では、スタンスを取った後に地面のどの場所であってもクラブをつけたとき（ハザード内ではスタンスを取ったとき）アドレスしたとみなされた。

2012年規則ではスタンスは関係なく、クラブヘッドを球の直前、直後（プレーの線に対して）の地面に置いたときにアドレスを取ったことになる。

・規則6-3 a スタート時間 [HSG適用除外]

2008年規則では、スタート時間に遅れた場合の罰は競技失格であるが、委員会は競技失格の罰を修正できた。

2012年規則では、スタート時間から5分以内にスタートできる準備ができて到着した場合は、最初のホールに2打の罰（マッチプレーでは最初のホールの負け）となる。5分を超えての遅刻は競技失格となる。

・規則12-1 球が見える限度；球の搜索

2008年規則では、①ハザード内では球の搜索の際に砂は取り除くことができる。②ハザード内のルースインペディメントを取り除いた結果、球が動いても罰はない。

2012年規則では、①コース上のどこでも球の搜索中に砂を取り除くことができる。②ハザード内でルースインペディメントを取り除いた結果、球が動くと1打の罰となる。

・規則13-4 球がハザード内にある場合；禁止行為

2008年規則では、球がハザード内にある場合、その球をストロークする前にハザード内の砂は均せなかった。

2012年規則では、ハザード内に止まっている球のライやスタンス、意図するスイング区域、プレーの線の改善とならない場所で、単にコースを保護する目的であれば、均すことができる。

・規則18-2 b アドレスした後で動いた球

2008年規則では、アドレス後に動いた場合は、プレーヤーが動かしたとみなされ1打の罰を受ける。

2012年規則では、アドレス後に動いても、その原因がプレーヤーにないことが確実であれば罰はなくなった。

・規則19-1 動いている球が方向を変えられたり止められた場合；局外者により

2008年規則では、その処置について明記はなかった。

2012年規則では、その処置を明記している。例えばストロークした球がスルーザグリーンでギャラリーに意図的に止められた場合は、その球が止まっていたであろう箇所を推定し、その箇所にできるだけ近い所にドロップしなければならない。

・付属規則IV [HSG適用除外]

ティー、手袋、距離計測などの用具に関するガイドラインが追加。（ストロークの援助となる様な手袋は違反）

2. H24年度の研修会の予定

・場所；大みかゴルフコース ・集合時間；7：45

・内容 ①マナー・ルール事前研修 ②18ホールプレー ③マナー・ルール課題研究 ④Q&A ⑤実技個別研修

回数	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回
期日	4/19(木)	6/7(木)	10/4(木)	12/6(木)	H25/2/21(木)

広報委員会

広報委員会では、会報とは別に「日立シニアゴルフ会ホームページ」を立ち上げています。

ホームページでは、発行済み会報、会則、HSGローカルルール（大みかゴルフコース、日立GC共通）、競技会成績速報、HSG研修会でのQ&A等がご覧になれます。是非アクセス頂き、ご意見・ご要望など頂ければ幸いです。

ホームページアドレス ▶ <http://www.net1.jway.ne.jp/shiniakai/>

総務委員会

1. 会員数現況 (H 24. 3. 31 現在)

組	生年区分	前年度	入会	退会	現在
A	～S11.3年以前	94	0	16	78
B	S11.4～S14.3	76	1	5	72
C	S14.4～S18.3	95	2	10	87
D	S18.4～	66	7	6	67
合計		331	10	37	304

2. 新入会員 (H 23. 9. 1 以降)

No	入会	氏名	出身	組	住所
7	10月	小原 光雄	(化)	D	ひたちなか市足崎
8	11月	三島 信義	(日)	D	日立市田尻町
9	11月	妹尾 誠	(日研)	D	那珂郡東海村
10	12月	西原 元久	(日研)	B	ひたちなか市稲田

3. 退会者 (H 23. 9. 1 以降)

No	退会	氏名	出身	組	事由
15	9月	近崎 充夫	(日研)	D	自己都合
16	9月	幸田 智一	(日)	B	ご逝去
17	10月	高根 文彦	(日)	B	健康上
18	10月	浅利 幹雄	(お)	A	健康上
19	12月	二平 豊治	(日)	A	健康上
20	12月	新崎 康一	(日)	A	健康上
21	12月	齋藤 奎二	(お)	A	自己都合
22	12月	神林 春次	(線)	C	自己都合
23	1月	田崎 健治	(お)	A	自己都合
24	1月	小野寺 敬	(水)	A	自己都合
25	1月	高月 英男	(線)	A	自己都合
26	1月	松井 雄	(日)	A	自己都合
27	1月	安田 富朗	(日研)	A	自己都合
28	1月	加藤 二郎	(自)	C	自己都合
29	1月	金津 勇	(線)	C	自己都合
30	1月	田隅 洪平	(線)	C	自己都合
31	1月	目崎 敏博	(線)	C	自己都合
32	1月	中島 羊一	(本)	D	自己都合
33	1月	飛田 修二	(線)	D	自己都合
34	1月	鈴木 静二	(線)	A	健康上
35	1月	前野 徳樹	(線)	B	健康上
36	1月	竹内 孝	(線)	A	健康上
37	2月	大阿久 勝	(線)	A	自己都合

4. 平成 23 年度決算報告 (H 24. 2. 7 現在)

収入	(円)
(イ) 前年度繰越	1,289,123
(ロ) 年会費	948,000
(ハ) 競技会参加費	1,428,000
(ニ) 競技会不参加料他	6,000
(ホ) その他	166
合計	3,671,289

支出	(円)
(イ) 競技会案内状	74,250
(ロ) 賞品	932,500
(ハ) パーティ代	526,449
(ニ) HSG会員章	6,573
(ホ) 印刷製本費	411,900
(ヘ) その他	600,291
合計	2,551,963

平成23年度残高 1,119,326円
(収入3,671,289－支出2,551,963)

【補足説明】

収入の部

(ロ) 年会費未納者：なし

支出の部

(ホ) 印刷製本費 会報29,30号 351,000円
会員名簿 60,900円

(ヘ) その他

東日本大震災義捐金 300,000円

5. 年会費納入のお願い

年会費(3,000円)の納入は、新年度最初の競技会時又は、銀行振込でお願いします。規約により、その年の**12月31日までに納入のない場合は、退会扱いになります**のでご注意下さい。

- ・振込先：常陽銀行兎平支店 店番号103
- ・口座番号：1332207
- ・名前：日立シニア会代表 石川 隆宏

6. コース除草作業 協力依頼

期日：6月6日(水) 8：30～11：00

[雨天時は次週6月13日(水)]

午後から無料でプレーができます(昼食無料)。

皆様の積極的な参加をお願いします。

シニア山柳 入選五席「ゴシック」

天ぷらは涼を求めて池の中	A組 東屋敷 晃	今日もまた開眼したぞ開眼したぞ何回も	D組 七加家洋一	スコア良し松の樹までも応援す	C組 石川 良雄
ゴルフとは十八ホールのゲームだよ	前半はサブロク後半ヨンナソリや駄目だ	素晴らしいアンチエイジングゴルフ技	D組 服部 昭宇	天ぷらがおいしかったよ花道で	B組 亀井淳太郎
入賞を大みかドルで喜ばす	A組 久保 英章	ベスグロのワースト記録が自慢なり	A組 吉田 晴彦	バンカーに入れた貯金を使いきり	D組 末吉
好スコアのぼる五番も楽々と	A組 佐藤 清仁	赤いティー景色新鮮齡忘れ	A組 八木 秀幸	チップイン女神微笑む芝の上	A組 田代 末吉
ドラ短も寄せとパットに助けられ	B組 海老根克明	ゴルフの日目覚ましよりも早く起き	A組 阿部 章	ブービーに泣いた日もある初優勝	A組 涌井 滋
タラレバをあれこれ数え帰路に着く	B組 橋本 正明	池ボチャをクラブのせいに足蹴する	A組 加藤 格司	四頭立のリズムかみ合い好スコア	B組 児矢野 勇
初孫と準優勝でおらが春	B組 志田 茂	低弾道ランで得する寒ゴルフ	A組 茶園 悦男	大たたきめげずに頑張り初優勝	B組 谷中 雅雄
優勝と賞のくだものかみしめる	C組 前川 磐雄	雉が鳴く解かるかお前も震災を	A組 正岡 功	初優勝パーティ挨拶上の空	B組 蓑輪 勉
ティーショット飛ばず寄せはホームラン	C組 齋藤 茂樹	毎朝の素振りですコア改善す	B組 蓑輪 勉	シニアの勝負どころは寄せパット	C組 垣花 寿雄
オリンピックやらないゴルフ何故入る	C組 石川 隆宏	つきが来てマンジュウ上下しチップイン	B組 村尾 勝衛	慣れてないオーナーでショット地球打つ	C組 小西 健司
投げ出したやる気を戻すワンパット	C組 斎藤 茂樹	二階でのパットの練習震度2?	B組 長瀬寿美雄	アラ古希やゴルフをせんとや生まれけん	D組 荻原 賢重
趣味の欄ゴルフ三文字やと書け	C組 石川 隆宏	開眼は一度ですよと妻が言う	B組 長瀬寿美雄	言い訳も答弁のごと年の功	D組 佐藤 正義
シニアでも精進すれば成長期	C組 石川 隆宏	五番ホール登れるうれしさ続けたい	B組 長瀬寿美雄	スコアは気合だけでは纏まらない	D組 玉木 繁夫
年重ねゴルフフルの深み知る	C組 石川 隆宏	Vの夢五番の丘に今日も暮れ	B組 長瀬寿美雄	狙った先の見えない蟻地獄	
池ボチャに天を仰いで独り言	C組 石川 隆宏	遼君に上げたかったこの一勝	B組 長瀬寿美雄	右はダメ言われたとたん右へ飛び	
優勝のスピーチ遠しまた川柳	C組 石川 隆宏	頑張って飛ばしてきてと孫の声	B組 長瀬寿美雄	松ばやし今日も友達キンコンカン	
古稀近しされど優勝まだ遠し	C組 石川 隆宏	秋深しもみじに見惚れて吸い込まれ	B組 長瀬寿美雄	フエアウェーバードイ狙いが池の中	
逆光に消えたボールがホールインワン	D組 荻原 章	修行なりカートが重い五番坂	B組 長瀬寿美雄	歳と共届く距離でもミスショット	
崖登り足を痛めて好スコア	D組 荻原 章	ハンカーもゴルフの内と観念し	B組 長瀬寿美雄		
	D組 前田 邦裕		C組 星野 和貞		

編集後記

- ◆ 東日本大震災発生から一年が経過したのを機に、貴重な体験を「東日本大震災の記憶」として投稿頂きました。被災された皆様方の早い復旧をお祈り申し上げます。
- ◆ 第1回HSGオープンについて、開催の主旨、ゴルフ場の決定などに関する山崎会長談話と競技結果を掲載しました。
- ◆ 2012年JGAゴルフ規則について、2008年規則からの主な変更点とHSG競技への適用についての解説を取り上げました。プレーの参考にして頂きたくお願い致します。
- ◆ 皆様方から多数の投稿を頂きありがとうございました。なお、数件の寄稿については次号掲載の已む無きに至りました。ご理解の程お願い申し上げます。

第31号編集担当 秋山豊太郎